

ICT 端末の効果的な活用に向けて vol. 3 iOS (Apple) 編

発行：釧路教育局教育支援課義務教育指導班

令和3年7月30日(金)、釧路管内の教諭を対象とし、1人1台端末を活用した分かる授業づくりや主体的・対話的で深い学びを実現する授業づくりについての理解を深め、指導力の向上を図ることを目的に、北海道教育大学附属釧路義務教育学校前期課程の4名の先生方を講師として、1人1台端末活用に係る研修会 iOS (Apple) 編を開催しました。本研修会における説明や演習の内容等について紹介します。



【説明】「ICT活用を通して、協働的に学び目指す子どもの姿に迫っていくために」

講師：北海道教育大学附属釧路義務教育学校前期課程 登藤珠実先生

【ICT活用に係る、基本的な考え方】

- ・端末やアプリケーションは、目的を達成したり解決したりするための道具(ツール)であること
- ・ICTを使用する目的を明確にすること
- ・児童生徒とともに学びに生かす方法を確認しながら進めること
- ・情報活用能力の育成を根拠として考えること



【説明・演習】日常の授業で使えるアプリの活用方法について

講師：北海道教育大学附属釧路義務教育学校前期課程 中村謙太先生
山崎博幸先生
田中美穂先生



ロイロノート・スクールの活用

【体育科での活用】

- ・動画や写真を用いることにより、運動のポイントを言語化し共有することができる
- ・児童生徒の回答を教師が意図的に画面共有することにより、運動のポイントを知る手掛かりとすることができる

【算数科・社会科での活用】

- ・互いの考えを共有し「ずれ」として表出することにより、問題解決に向かうことができる

【総合的な学習の時間での活用】

- ・シンキングツールとして活用することにより、情報を整理・分析することができる

【音楽科での活用】

- ・ビデオで自分の歌声を録音し共有することにより、児童生徒同士で歌声を聴き合ったり、本時の目標を達成できているか確認したりできる



GarageBandの活用

【音楽科での活用】

- ・教師が作成したメロディーをAirdropで共有し、児童生徒が伴奏をつけることにより、音楽づくりができるとともに、つくった音楽をAirdropで共有することができる



iMovie・Keynoteの活用

【委員会活動での活用】

- ・あらかじめ録音した音声や映像、Keynoteで作成したスライドをiMovieで編集することにより、オリジナル動画を作成できる

【国語科での活用】

- ・メッセージを動画で撮影し、iMovieで編集した動画を児童生徒同士で見合うことにより、推敲することができる

参加者による意見・感想

- ・附属釧路義務教育学校前期課程の実践から学ぶことができ、とても参考になりました。
- ・1つのアプリでも使い次第で可能性が広がることが分かり、色々と工夫してみたくなりました。
- ・教員側も、ICTの活用に向けて様々な挑戦をし、1人1台端末を学校全体で活用できるようにしたいと感じました。
- ・無理矢理タブレットを使うのではなく、目的達成のための手段として活用する意識を忘れないようにしたいです。